

向陵、八西破り4強

野西は光星に3-0 工大一逆転負け

全国高校サッカー
青森県大会次予選
第101回全国高校サッカー選手権青森県大会次予選第3日は22日、十和田市高森山総合運動公園で3回戦3試合が行われた。県南勢は向陵が八戸西を破り、初のベスト4入り。八学野西は八学光星に快勝した。工大一は延長の末、東

義に逆転負けした。第4日の11月3日は青森市カクヒロケループアスレチックスタジアムで準決勝の青森山田1向陵(10・30)、東義1八学野西(13・30)が行われる。(上村公徳) 義 2000 八戸西 2200 向陵 2000 八学野西 3022 工大一 2100

延長 00
0100
八学野西 3100
八学野西 200
八学野西 200

攻撃かみ合いの得点
○：向陵が今夏の県高校総体4強の八戸西を撃破し、初のベスト4入りを果たした。前半はスコアレスだったが、後半に入ると攻

撃の陣軍がかみ合い、巧みだ。さらに上を目指すならなパスワークとドリブルでもっと得点のばおいがす。2得点。山本監督は選るサッカーをしないと。手たちの成長を感じた。た。浮かれる様子はなかった。

守備も、安定感抜群。前半は攻め込まれる時間が長かったが、守備陣が連携した動きで相手の攻撃に対応した。今大会3試合連続無失点となり、山本監督は空中中戦や1対1の勝負でほとんど負けていなかった。よく守ってくれている」とねぎらった。

準決勝では王者青森山田に挑む。「相手は日本一のチームボールを保持して、何回チャンスをつくれるか。チャレンジだ」と力を込めた。



【八学光星-八学野西】前半、八学野西はDF池田詠斗(左)がシュートを放つ

系列校倒しベスト4
○：八学野西が系列校対決を制し、13大会連続の4強入りした。持ち前の運動量で上回った。布施輝大主将は「走り勝ち。チャンスも、しっかり生かした」と充実感をにじませた。

実感をにじませた。中盤の空中戦やこぼれ球の奪い合いで優位に立ち、多くの好機をつかんだ。3点中2点はセットプレーから得点。二上監督は攻め込むことができて、いるからFK、CKを獲得できる。

うまく試合運びができた。と内容に及第点を与えた。準決勝では6大会連続の決勝進出を懸けて東義と対戦する。布施主将は「もつとハスをつなぐ意識を持って戦う。運動量でも絶対的に負けない」と意気込んだ。